

さくらだより

さくらだより県政報告第22号
平成25年10月4日発行
発行：県議員 ざくらだより
事務所：福島市瀬上町字沢目4-2
TEL&FAX：024-554-1164又は024-553-5048
E-mail：k_sakurada2@ybb.ne.jp

東日本大震災・原発事故から2年6ヶ月が過ぎました。福島県においては、避難している方々が故郷に戻る福島県をつくること、そのためには今、この福島県を支え、この福島県で生き抜こうとしている県民そして子どもたちが、心豊かに日々の生活を送ることが出来る福島県をつくること、それが福島県の再生に繋がると信じて活動してまいりました。今、政治家に求められていることが3つあると強く感じています。一つ目は、今何をしなければならぬのか、何が求められているのか敏感に感じると「感性」、二つ目は、様々な課題を課題として認識し課題に的確に対応できる「専門性」、三つ目は、当事者の立場に寄り添った施策展開を実現する「行動力」です。この3つの力を重ねて知恵を出し、知恵を形にして、政策に繋げていくことが求められていると感じています。未来はやがてやって来るものではなく、目指すものです。前号から1年4ヶ月となりますが、この間のふくしまの未来を目指して活動してきた内容をお知らせする「さくらだより第22号」をお届けします。

平成24年1月22日の自民党大会で「福島に来て頂くことが福島の復興に繋がります。福島に来て下さい。」と訴えて以来、党本部、富山県、東京都、北海道、福井県、九州ブロック、山口県、兵庫県、埼玉県、山梨県の各都道府県連女性部局、新潟県議会柿沢正三後援会、富山県津津市議会など2千人を超える人たちに福島県を訪れて頂き、それぞれ福島の現状と課題についてお話をさせて頂くとともに、富山県津津市と京都府の女性部局及び京都大学に招いて頂き、福島の現状と課題について訴えてまいりました。

H24.05.01 桜の聖母学院出身の水泳選手加藤知さんのオリンピック壮行会に祝辞を全力で取り組んで欲しいとエールを送りました。
H24.05.15 総務委員会内調査。日遊輪船株式会社と関係のある南相馬市原町区の商業幼稚園の現状と課題を調査。
H24.05.16 総務委員会内調査。県中地方振興局管内の現状と課題を調査。
H24.05.25 井本敏彦氏、利室双光氏、渡辺章氏らに祝辞を述べました。
H24.07.19 県立図書館蔵本館と図書館の現状と課題について調査。
H24.07.23 福島学院大学で子育て支援政策を学ぶ学生が「けやきの子」子どもたちに紙芝居をアピール。内閣府の奨励を受け感謝。
H24.07.27 途通りのシンボル。相馬野馬追が復活。伝統文化を守る地域の力に感謝です。
H24.08.01 浅川地区で災害復旧要望対応。
H24.08.07 総務委員会外調査(滋賀県)。
H24.08.25 杉山直己さん、愛さん結婚おめでとうござい。子どもは3人以上をとお願いをしました。結婚をして子どもを育む家庭を築ける福島をつくること、福島県に未来に繋がります。福島の未来を育む二人に幸あれ。

H24.05.14 自民党東京都女性部の皆様から福島復興支援のために視察研修会でお話を頂きました。
H24.05.25 自民党北海道女性部の皆さんが復興支援視察研修会に福島県に来て下さいました。
H24.07.03 自民党九州ブロック女性部の皆さんが復興支援視察研修会に福島県に来て下さいました。
H24.07.25 自民党女性部で産後ケア活動のつとめて、中央児童相談所を視察。子どもたちをとりこむ課題を学びました。
H24.06.25 平成24年度福島学院大学人材寄付講座第2回は「ふくしまの未来を考えると、元県議会議長加藤貞夫氏、県議会議長鈴木正見氏、県議会議長野崎洋一氏、福島県中央テレビ報道部長松川修二氏、福島県民新聞報道部長若原俊也氏にお話を伺いました。
H24.07.22 福島学院大学平成25年度人材寄付講座第1回は国土交通省東北整備局企画部技術調整管理官加藤信行氏に復興の現状と課題についてお話を伺いました。
H24.07.27 福島学院大学平成25年度人材寄付講座第1回加藤氏の講演。
H24.09.20 自民党として福島市法人保有会を設立。警察音楽隊の演奏にふくしま復興の歩みを感じました。
H24.09.21 飯坂地区の国道399号線にかかる地元の要望に対応。

H24.06.09 自民党富山県津津市支部女性部定期総会に招かれ福島復興の現状と課題をお話をさせて頂きました。
H24.06.27 自民党福井県津津市支部女性部の皆様から福島復興支援のために視察研修会にてお話を頂きました。
H24.04.23 山梨県連女性部の皆様から復興支援視察研修会に来て下さいました。
H24.09.06 京都府連女性部視察研修会において「福島の現状と課題」について講演。
H24.09.07 自民党山口県連女性部被災地支援視察研修会において「福島の現状と課題」について講演。
H24.07.02 平成24年度福島学院大学人材寄付講座第3回は「ふくしまの子どものために」について(財)福島県文化振興事業団副理事長長谷川博子氏にお話を伺いました。
H24.07.01 母校桜の聖母学院高等学校同窓会にて祝辞。
H24.07.29 福島学院大学平成25年度人材寄付講座第2回の政策研究大学教授内閣府事務官藤田孝志氏に祝辞。
H24.08.05 福島学院大学平成25年度人材寄付講座第3回は「ふくしま復興の歩みと課題」について(財)福島県文化振興事業団副理事長長谷川博子氏にお話を伺いました。
H24.09.14 「福島を志す会」において島根県水産部長をお招きして復興の現状と課題についてお話を頂き、懇話会しました。
H24.09.22 街頭演説会に86才のおばあちゃんも来て頂きました。
H24.10.13 高松介さん、良美さん結婚おめでとうござい。子どもを育む心で子どもたちがいつかの結婚式、子どもが3人以上をとお願いをしました。

福島県や県議会が、何を目標し、何をしているのか。県民に理解を深めて頂くために、平成19年度から福島学院大学人材寄付講座において「福島県関係講座」を開講させて頂いています。これまで知事や県議会議長、県教育長、県警本部長、各部長などに、お話をさせて頂きました。大震災後の平成24年度・25年度は、復興・復興に関する講座を開講し、毎回多くの方に参加して頂き、復興・復興の現状や課題について理解を深めて頂きました。

H24.08.06 参議院自民党福島復興委員会参事活動。参事活動。復興局長久松次官に参事書を送りました。
H24.07.31 福島市法人保有会において児童福祉施設の設備及び運営に関する基準を定める条例に関する講演を行い、要望を受けました。
H24.08.18 湯野地区地滑り防止工事の現地を視察。
H24.08.18 県立医大整形外科学講座開講60周年記念祝賀会。福島県の医療の中核。シンボルの医大であるよう祝辞。
H24.08.24 あさひちゃんの未来を築いて、未来を担う子どもたちの生き生きとした未来を築いてほしい。福島県に未来を育む二人に幸あれ。
H24.09.22 3人の子どもを養って育てていくお母さんがんばれ。
H24.10.23 第5回福島県交通安全大会において母の会の皆様と懇話。
H24.11.01 「自閉症を正しく理解すること」として、お話を頂いた。ゲートウェイ。自閉症の講演会を福島学院大学で開催。約400人が参加。専門知識の必要性を強く感じました。
H24.11.11 福島県歯科口腔保健の推進に関する条例制定新会講演会において条例の内容について説明。
H24.11.12 自民党女性部中央研修会。風評対策として石破幹事長、安倍総裁にふくしまのりんごを届けました。
H24.11.14 朝日新聞文化事業団による被災地支援「千住真理子演奏会」をコーディネート。潮上小学校、桜の聖母学院高等学校、聖光学院、南相馬市小中学校5校の子どもたちに本物を届けました。
H24.11.19 福島県美容組合とグループ補助金について懇話。



夢をつなぐ 語り継ぐ 福島のためにあなたと

H24.12.24 「明るい社会づくり運動」で音の出る信号機の設置などを行っている「通りやんせ基金」への募金を呼びかけるラジオ・チャリティ・ミュージックソンを聴きました。

H24.12.18 12月議会総括審査会で教育の在り方を論じました。

H24.12.29 聖光学院サッカー部全国大会壮行会祝賀会、自身全盛で奮り取った初出場にエール。

H25.01.19 福島県スポーツ少年剣道大会で剣道を通して「礼を尽くす心、人としての心、そして生きる力を育んで欲しい」と挨拶。

H25.01.04 平成25年度福島市新年市民交歓会及び飯坂方新年会開催。一人一人が福島を支える力になることを願う一瞬でした。

H25.01.09 湯野地区の果樹園で大震災後増えているイノシシによる被害状況を調査。

H24.12.10 生活衛生同業組合の首脳と出張理由について懇談。

H25.01.18 福島県印刷工業組合新春の集いで祝賀・懇談。

H25.02.10 第31回お情無用150分切羽合で祝賀・懇談の開催。

H25.01.29 飯野町商工会新春賀詞交歓会にて祝賀・懇談の開催。

H25.01.29 福島市医師会の方々と石井みどり参議院議員と、東北建設事務所との間で、歯科口腔保険の推進に関する条例に基づく今後の取組について懇談。

H25.01.27 飯野町商工会女性部新春のついでに「家庭の大切さ」を講演。

H25.01.17 不動寺福島の首脳に今年度で求められている「家庭の大切さ」をお話しさせて頂きました。

H25.02.28 福島県私立幼稚園協会会長と県執行部の協議に対応。

H25.02.12 更正保護法人至道会への要望に対応。

H25.02.22 遺棄者などの懇談会。遺棄者のお母さんへお話を伺い、福島県を支援する取り組みがどうなりましたか。

H25.02.25 明るい社会づくり運動で「家庭の大切さ」をラジオ福島で放送しました。

H25.01.28 全道輪通連会対応。H25.02.15 東京電力福島復興本社との意見交換、福島の実情を正しく理解して頂きたいと訴えました。

H25.05.03 華南地不動産が、成田地区の首脳と地域力を感得し、子どもたちも大喜びでした。

H25.03.10 命のしるしを有む家庭に家庭の大切さについて懇談。

H25.03.19 福島県私立中学高等学校協会と教育の質について懇談。

H25.04.05 福島県共同高等職業訓練校入式式祝賀。

H25.04.06 桜の聖母中学・高等学校入式式に出席。

H25.04.08 橋高橋入式式長代理祝賀。H25.04.10 三育幼稚園入式式に出席。

H25.05.11 福島県立医科大学会津医療センター開院祝賀会にて総務委員長として祝賀。

H25.05.12 ガールズスカウト福島県連盟定時総会祝賀。未来を担う子どもたちの心と生きる力を育むガールズスカウト活動に感謝。

H25.05.05 龍生派福島県支部花展。小武山最高顧問、高橋前支部長、若林先生と、生け花から感動を頂きました。

H25.05.21 総務委員会県外調査(熊本県)。

H24.12.21 「明るい社会づくり運動」で訪れた福島テレビで募金にきた3名幼稚園のかわいしげな子どもさんに会いました。

H25.05.24 福島県北郡土木業協同組合総会にて祝賀。いっしょを走らせて頂き首脳「心電図」を頂きました。

H25.06.04 総務委員会福島県立医科大学にて今求められている課題を調査。

H25.06.14 福島県立医科大学山崎教授と東生会支部、福島県立医科大学山崎教授と東生会支部、福島県立医科大学山崎教授と東生会支部、福島県立医科大学山崎教授と東生会支部。

H25.06.09 自民党女性部青年部大会。女性部長として「家庭のあり方」をコーディネート。

H25.05.12 福島信陵ライオンズクラブ主催キッズサッカーフェスティバルにて子どもたちにサッカーを通して「思い」と「生きる力」を育んで下さいと祝賀。

H25.05.22 総務委員会県外調査(佐賀県)。

H25.05.26 全道輪通連会第53定期大会にて技術力でさらにたくましく生きる力を頂きたいと祝賀。

H25.08.08 津波町庭坂(三河町工区)開通式のご挨拶。

H25.08.12 看護連盟健康会長・本内幹事長・石田参議院議員と医療の課題について懇談。

H25.08.09 山口喜多市市長と市政に求められていることについて懇談。

H25.05.23 福島県地区電気工事協同組合にて今年度通常総会に出席。協会の発展に貢献することを期す。

H25.06.15 香農園で福島県観光農園開園式。さくらんぼの色合い、おいしさに感動。

H25.08.22 インターンシップで私の政治活動を学ぶ学生が総務部長と福島県立図書館長と表敬訪問。

H25.08.19~20 自民党女性部中央研修を実施。此本場で女性部長として研修の目的をお話することから研修が始まりました。東日本大震災復興加速化大本部部長・石井みどり参議院議員に福島県も、を頂きました。国会議員を見学し、池田百合子参議院議員の講演、東日本大震災でお亡くなりになった方々の追悼、福島復興の復興を促す「明治神宮」参拝、インターネットプログラムの長岡浩(山形大3年)、船木志(東北学院大1年)も参加し、有意義な研修を実施しました。

H25.08.02 聖光学院野球部甲子園出場式で自身全盛で心一つにがんばってとエールをおくりました。

H25.08.21 福島県医師会執行部への要望に対応。

H25.08.21 佐藤一好福島市議会議員と中野部副議長が来庁、就任おめでとうとご挨拶。

H25.08.22 福島県生活衛生同業組合の執行部への要望に対応。

H25.06.23 向嶽上地区の首脳から復興などについて約70箇所に平成26年度要望活動。総務省自治財政局長に財源確保を、根本復興大臣に復興財源と人材確保を要望。

H25.08.23 福島県看護協会看護連盟の執行部への要望に対応。

H25.08.23 飯野地区懇談会。

H25.08.23 飯野地区懇談会。

H25.08.23 飯野地区懇談会。

H25.08.23 飯野地区懇談会。

H25.08.23 飯野地区懇談会。

- 平成24年9月議会一般質問において導き出した主な回答
- ・平成23年12月議会にて回答を得ていた小児医療拠点として整備する県立医科大学「子ども医療センター」に「子ども専用集中治療室」を設置。
- ・福島県復興のシンボル事業として、天皇・皇后両陛下を招いての「全国植樹祭」の平成30年開催に取り組む。
- ・「児童福祉施設の整備及び運営に関する基準を定める条例」への児童福祉施設の質を高める4項目の福島県独自基準の盛り込み。

- 平成25年6月議会代表質問において導き出した主な回答
- ・少子対策の一つとしての妊婦が感染すると赤ちゃんへの影響が懸念される風疹の成人向けワクチン接種費用補助を実施。
- ・TPP参加による県内農林水産業への影響試算額1,041億円の公表。
- ・避難指示解除準備区域で事業再開を目指す事業者が「グループ補助金」を再度使えるようにする適用範囲の見直し。